

ハッカソン仙台 2019 の開催報告

1. 開催概要

以下の通りハッカソンを開催いたしました。

- (1) 名称 (テーマ) : ハッカソン仙台「いいところ発見、発信ハッカソン」
～ICT で創る仙台の魅力～
- (2) 開催期日 : 令和元年 9 月 7 日 (土) 10:30-18:00
令和元年 9 月 8 日 (日) 9:30-18:00
- (3) 開催場所 : 東北大学 片平南キャンパス内 電気通信研究所本館 6 階大会議室
- (4) 参加者 : 社会人 12 名、大学生・高専生・専門学校生・大学院生 9 名 (計 21 名)
- (5) 参加費 : 無料
- (6) ファシリテーター : ㈱ギブリー 村上友章氏、情報通信研究機構 横山輝明主任研究員
- (7) 募集方法 : 主催者 HP、大学や協力団体への周知依頼による募集、メールによる受付。
- (8) 開催概要 : 「いいところ発見、発信ハッカソン」～ICT で創る仙台の魅力～をテーマに市民や観光客に観光都市、買い物都市、生産都市、生活都市、防災環境都市としての仙台都市圏の魅力を発見・再発見してもらうため、その魅力を ICT で創り発信するハッカソンを開催した。また、このハッカソンを通じて、地域課題の発掘やその ICT 技術による課題解決力のある人材の育成に寄与することを目指した。有識者 7 名による講演と基調講演の後、参加者によるアイデアを投票により絞り込み、参加者同士で 5 つのチームを結成し、各チームがプロトタイプの開発を進めた。この間、多くのメンターからのサポートも受けながら、路面凍結を Web カメラ画像から検知・解析しアイスバーン状況をボットで通知する「スベラセン」や、「芋煮」において、食材を無駄にしない・おすそ分けをしたい・芋煮が欲しい・あげたい人達をマッチングする「のこめし (残った飯には福がある)」などのプロトタイプを創出した。各発表の際に審査員から鋭い質問や実現に向けてのアドバイス等があり、盛況であった。
- (9) 主催者 : 国立研究開発法人情報通信研究機構、国立大学法人東北大学
- (10) 後援 : 総務省東北総合通信局、宮城県、仙台市
- (11) 協力 : 一般財団法人石田實記念財団、一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 (MISA)、一般社団法人マシンインテリジェンス研究会 (MITOOS)、一般社団法人 Code for SENDAI、株式会社ギブリー、株式会社オプティム (OPTiM)、株式会社セキュアサイクル

2. タイムスケジュール

9 月 7 日 (土)

時間	内容	備考
10:00	開場・参加者受付	
10:30	開会式	
10:45	参加者自己紹介	

11:05	講演	
12:15	アイデアソン	
14:30	ランチ	
15:30	アイデアソン+ハッカソン	
17:30	進捗共有会	
18:00	1日目終了、自由時間	数組 作業継続
21:00	閉場	

9月8日（日）

時間	内容	備考
9:00	開場	
9:30	開会	
9:40	ハッカソン再開・開発	
12:00	この頃 適宜ランチ	
	ハッカソン	
15:00	Code Freeze! 休息・会場設営	
15:15	発表ガイダンス	
15:25	発表	
16:25	休憩（審査時間）	
16:40	結果発表・集合写真撮影	
17:10	懇親会	
18:00	閉会	

3. ハッカソン仙台模様



開会式



基調講演



アイデアソン



ハッカソン



ハッカソン



発表審査



受賞式



集合写真

4. 審査結果

審査委員として矢島敬雅東北大学理事、塩入諭ヨッタインフォマティックス研究センター長、徳田英幸情報通信研究機構理事長、鈴木陽一耐災害 ICT 研究センター長、及びゲスト審査委員として MISA から小泉勝志郎氏と OPTiM の山下隆敏執行役員が審査を行い以下の通り表彰した。

チーム及び作品（プロトタイプ）一覧

賞	作品（プロトタイプ）	チーム名
東北大学賞	スベラセン	スベラソン仙台
NICT 賞	のこめし（残った飯には福がある）	ビギナーズ（いも）
MISA 賞	伊達なベビーカー	おっさんずらず
OPTiM 賞	TAMRo	アベマふれっしゅ
いいとこ発見発信賞	ふるわーく	Glasses

伊達なベビーカーではチームに女性がいなのに女性目線の開発を行っていて感心されていた（実はメンターの女性陣の貢献大）。TAMRo は若い人たちがやりたいと思うことを作り形にした。ふるわーくは仙台の地元に若者が残らないと言う仙台ならではの問題に対応し将来の可能性もある。等々、の声が聞かれた。また、運営側の急造チームによるこりゃいいわな！が笑いを誘った。



HACKATHON SENDAI
ハッカソン仙台

2019.9.7-9.8
9.7(10:00-18:00) - 9.8(9:30-18:00)

「いいとこ発見、発信ハッカソン」
～ ICT で創る仙台の魅力～

仙台都市圏は、利仙広域などと並び称される東北の中核都市圏です。
また、災害に対する防災環境都市としての先進的な取り組みが行われています。
今回は仙台都市圏を「観光都市」「買い物都市」「生産都市」「生活都市」「防災環境都市」として「仙台都市圏の魅力を発見・発信しよう」を課題に、ICT による課題解決を目的としたハッカソンを開催いたします。

我々は、ICT (Information and Communication Technology・情報通信技術) による地域課題解決を目的としたハッカソンを通じて、ICT 技術開発力のある人材育成を目指しています。

東北大学 NICT 情報通信研究機構



HACKATHON SENDAI
ハッカソン仙台

「いいとこ発見、発信ハッカソン」
～ ICT で創る仙台の魅力～

開催日時: 2019年9月7日(土) 10:00-18:00 ～ 8日(日) 9:30-18:00
※本日の開催時間は都合により変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください。

開催場所: 東北大学片平南キャンパス内 電気通信研究所本館6階大会議室

参加資格: 30名以内(5チーム)
・仙台市及び近郊の都市圏で暮らす学生(高専、専門学校、大学、大学院生) / 社会人(エンジニア、デザイナー、プログラマー等)。
・ICT による課題解決、ICT を学ぶこと、ICT で遊ぶこと、プログラマーとデザイナーの両方がある方。
※東北以外に居住されている方、グループでのお申し込みも歓迎いたします。

参加費: 無料(交通費は自己負担となります。)

主催: 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)
国立大学法人東北大学 (TOHOKU UNIVERSITY)

後援予定: 総務省東北総合通信局 / 宮城県 / 仙台市

運営委員: 情報通信研究機構及び東北大学の役職員

お問い合わせ先: 情報通信研究機構 戦略的プログラムオフィス
Tel: 042-327-5894 / E-Mail: HackSendai2019@ml.nict.go.jp
NICT: https://www.nict.go.jp/

申し込み方法: 下記のメールアドレスに必要事項を記載の上お申し込みください。

HackSendai2019@ml.nict.go.jp

必要事項

- ▶ 氏名
- ▶ 所属 (大学名等、学部/学科、研究室)
- ▶ 年齢 (必須ではありません)
- ▶ 連絡用メールアドレス
- ▶ 電話番号 (必須ではありません)
- ▶ 趣味・得意なもの (例: O5、開発プログラム、電子工作、デザインなど)

ACCESS 会場のご案内 東北大学電気通信研究所 〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1-1

仙台駅より約20分

「バス」をご利用の場合 仙台駅南口バスプール11番乗り場より
→仙台バス794系統仙台市営バス東区線に乗車
→仙台バス794系統東区線「東区線」バス停より徒歩1分
→仙台バス794系統東区線「東区線」バス停より徒歩1分

「徒歩」をご利用の場合 仙台駅南口より徒歩1分、徒歩1分

電気通信研究所内のご案内

主催者が提供するデータやクラウド環境の利用体験も可能!
https://www.nict.go.jp/testbed/index.html

■ 本件に関する問い合わせ先

NICT 耐災害 ICT 研究センター
TEL : 022-713-7511

NICT 戦略的プログラムオフィス
TEL : 042-327-5894